

2023年3月期 財務概要

デジタルハリウッド大学

2023年3月期の収支状況

当年度の収入は1,697百万円となり、前年度に比べ70百万円増となりました。内訳としては、入学者数が堅調に推移し、かつ退学者が減少しているため在籍学生数が増となり、あわせて修学支援新制度授業料等減免による支弁者の費用負担の安定などにより、学生等納付金が64百万増、また、海外提携大学への教育プログラム提供による収入8百万増、地域連携・撮影協力などの設備貸出収入が減少し2百万減、その他増減によるものです。

当年度の支出は1,480百万円となり、前年度に比べ36百万円減となりました。スタッフ（職員）の配属見直しなどを行った結果、大学部門人件費は23百万円減となりました。教育環境拡充のための設備運営関連費用は引き続き積極的な運用を行い、15百万円増となりました。カリキュラム施策・学事の充実など学生の活性化についても引き続き重点施策と位置づけ関連費用5百万円増となりました。引き続き、コロナ禍などで家計が悪化した学生への経済的支援として大学独自の学費減免・奨学金の支援を継続しております。設置会社管理部門の費用は、各種業務や消耗品の調達その他見直しにより全体減となり、大学部門への配賦額も32百万円減となりました。その他全般について、費用の見直しによる増減があります。

以上の結果、収支差額比率は前年度より6.0ポイント上昇、収支差額は217百万円となりました。引き続き、本学の未来構想DHU2025*を実装するために積極的な学校運用を行ってまいります。

*本学の未来構想 DHU2025 www.dhw.ac.jp/profile/vision (キーワード検索「DHU VISION」でもご覧いただけます)

過去5期間の推移 (単位: 百万円)

項目	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期
収入	1,412	1,474	1,563	1,627	1,697
支出	1,285	1,329	1,413	1,517	1,480
大学部門人件費	346	352	341	369	346
大学部門人件費以外	751	794	840	922	943
管理部門人件費(配賦)	42	68	64	57	56
管理部門人件費以外(配賦)	145	114	166	166	134
収支差額	128	145	150	110	217
収支差額比率	9.1%	9.9%	9.6%	6.8%	12.8%

本表における支出適用方法について

本学は2004年（平成16年）に構造改革特別区域法に基づく規制の特例措置として認定され、文部科学省の認可を受け設立した株式会社立大学です。設置会社のデジタルハリウッド株式会社では、監査法人による外部監査のもと年度決算を確定しております。また、事業部制により各事業部・グループごとの会計を行っております。本表では、文部科学省への設置計画履行状況報告の際に用いた支出配賦方法に基づいて算定と表記を行っております。

- ・設置会社の部門は、収益部門と管理部門に分けられます。大学は収益部門となります。
- ・管理部門の経費について、期間ごとに大学の収入（会社会計では売上高に分類）が設置会社全体の売上高に占める割合に基づき配賦率を定め、大学運営に必要な間接経費として期間ごとに配賦しております。

以上